

批評に代り

日本農民組合第三回大会は、去る二月末日、大阪で開かれた。

「通説」等に対する農民組合の對策は、所謂階級排斥の構想に中央集権組織に對する地方聯合會の分権主張、其他、いろいろ面白い討論があつて、それに対する意見も述べて見たいと思ふが、しかし概論の都合もあるので、農民組合機關誌「土地と自由」に載つてゐる、左の短文を拜借轉載して、以つて批評に代えて置く。

●大會議想

關西同盟會が有耶無耶に擧げられるのに第一日の主要時間を費したことも、驚き深いと思ふ。

其間、鈴木文治君、實川豊彦君の情願が春の土をぬけ出たか、予の様に、うねくねした事を特筆して置きたい。胸に青い布をつけた文治委員二人の頭上へ春雷が落ちた一幕ものも、舞臺裏の或る一室で演ぜられた、可笑しや、可笑しや。

二日に經由組合長が議長を鈴木君に譲つたのは、其の實を得ぬ。日本農民組合は日本労働同盟會では御座らぬ。尚其の任に堪へずとならば、宜しく新氣象、天下無名の土をあの椅子に置へるべきではないか。

●農民組合以外のお方々を陳述したいと云ふ案に賛成して反對したのは、今の農民組合と申して居る代議士でなかつた。

か云ふ、農村小作人は頼れなからずと。鼓努く天下泰平、日出度し、日出度し。

× × ×

總選挙に對する態度は、懸念たるものであつた。誤解、曲解、説教、中入れ、採決、説會、もみ直し、取消し、謝罪、など八百屋店を擧げた。

關東の河ヶ崎は見にくい、香川の意氣地なしには腹が立つ。

× × ×

役員改選を報ずる新聞は、中央委員鈴木文治、實川豊彦外何名と出て居つた。

— 山上生 —

●山上生といふのは、だぶんと岡山県聯合會の岡土山武雄君のことだらうと思ふ。

●この岡山聯合會は、日本農民組合中での、最もしつかりした組合の様に思へる。こんどの大會でも、猛烈に階級の知識階級排斥を叫んで戦つたらしく、且つ、政治運動の危険をも唱えてゐる様だ。

●山上武雄君は、この大會が済むと直ちに入獄したらしい。治警で三ヶ月だ。

●この岡山聯合會が主動で、去る三月二十四日に「日本農民組合岡山聯合會」が創立された。それ以前は漢口支部の山下慎平次君からや、詳しい通信も来てゐるのだが、そして、岡山聯合會が進まうとする方向や、岡土諸君中の空氣なども一寸面白さうなのだが、記事の都合で次第に絶した。

千駄木

第一にお説きしたのもやならぬのは、雑誌の編輯が後れた後れたことだ。その理由といふのはいつもながらの、金とか、手不足とか云ふ問題で、今更、事新らしく申しあげることではないが、今後大いに力場を入れてやる、諸君もろんと力を合せて貰ひ度い。

●是れも雑誌の後れた理由の一つにもなるが、渡邊善吾君が、少々新しい方面の運動をも、仕度いとの希望から、初らく農村運動同盟の仕事がやつて貰はれなくなつた。

●地方諸君からの、通信や、原稿も、澤山あつたが、編輯の都合で、載せられなくなつたのは、遺憾に思ふ。此の點も諸君の御諒を得て、これに代り、相變らず、各地に居る小作農の諸君や、社會問題や、お互の感想など、どしどし載つて貰ひたい。

●前號で、編輯の手違ひから、同盟支部の掲載落しをやつた事に付き、地方同人諸君に少なからざる御迷惑をかけた事と思ふ。深く責めを感じ、今後は必ずこんな平落ちは、仕でかさないと思ふ。諒文一冊で、勘辨をして貰ひたい。

●過日、雑誌「小作人」費用の足しまへにとの目論みで、京都で小品展覽會をやつた時の、賣り上げ金四拾圓は、雑誌費に買ひます。援助して呉れた諸君に一言お禮を申上げて置きます。



三つの優越點と

三つの誇り

三越の商品は、品質の優良さ、量の多さ、そして値段の低廉さといふ三つのいつも與らぬ優越した點を持つてをりますのみならず、常に最新式、實用さ、總珠の三つの特長を誇りご致してをります。例年十分御時味の上多少に拘らず御用命の程宜に、お上げます。

大 阪 三越呉服店

丸袖護謄工業所
岡山県北条郡瀬戸町

釣鐘護謄株式會社
岡山市大橋

星胃腸藥
星製藥株式會社